



2026年度『マッセ・市民セミナー』中部ブロック研修

施設虐待の防止を考える

～2025年度の改訂の基礎理解～

2025年10月から「児童福祉法」が改訂され、これまで保育所等の通所型の施設には課せられていなかった施設虐待の通報が義務化されました。通報の対象でなかった理由として、保護者の関わりが頻繁であり、保育者が子どもに対して虐待を行うなどありえないという考えがありました。しかし、近年の保育施設における痛ましい事例には、大人の無自覚な関わりが子どもを傷つけ、命をも脅かしているように感じます。保育施設がこれからの未来を担う子どもたちにとって心地よく、安心して過ごせる場であることを願い、改訂された「児童福祉法」について学んでいきましょう。



■プロフィール:

大阪教育大学教育学部 教授。
兵庫県西宮市初の男性保育士として施設・保育所に12年勤務。三人の男の子それぞれに育児休暇を取得。それらの体験を持ちに「父親の育児支援」研究を始める。
専門は「保育学」「児童福祉」「子育て支援」「父親支援」。
NPO 法人ファザーリングジャパン顧問、Yahoo!ニュースオナーサー、東京大学発達保育実践政策学センター研究員、兵庫県、大阪府、京都府等様々な自治体で委員を務める。
NHK すくすく子育て、視点・論点、たすけて極めびと、ビビット、あさイチ等出演し、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、神戸新聞等でそれぞれに連載を持つ。

■主な著書(共著・監修):

「育児父さんの成長日誌」朝日新聞社。
「男性保育士物語」ミネルヴァ書房。「家族支援論」相川書房。
「ワークライフバランス入門」ミネルヴァ書房。「パパちから検定」小学館。
「パパルール」合同出版。
「わが家の子育てパパしだい」「きょうだいの育て方」「お母さんのためのくじけない男の子の育て方」「思春期男子の育て方」「家族・働き方・社会を変える父親への子育て支援: 少子化対策の切り札 (別冊発達)」など著書多数。

■ 講師 小崎 恭弘(こざき やすひろ) 氏
(大阪教育大学教育学部 教授)

■ 日時: 7月8日(水)

第1部 14:00～14:30
大阪府福祉部による
情報提供(各ブロック共通)

第2部 14:30～16:30
マッセ・市民セミナー
(ブロック研修)

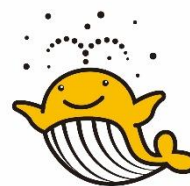


■ 会場: 八尾市文化会館
プリズムホール4階 会議室1

■ 募集人数 30名 (参加費: 無料)

<申込> 各市町村研修担当者を通じてお申し込みください

中部ブロック合同研修 申込締切（6月17日）



2026年7月8日（水）

施設虐待の防止を考える ～2025年度の改訂の基礎理解～

会 場	八尾市文化会館 プリズムホール4階 会議室1
〒581-0803 八尾市光町 2-40	
(1)JR「大阪」駅より環状線外回り(京橋・鶴橋方面)で「鶴橋」駅下車。 (2)近鉄大阪線「鶴橋」駅準急2駅、普通7駅の「近鉄八尾」駅下車。 (3)中央北出口を出て右へ200m 徒歩5分。	

会場

